



すぎなみ

教育報

第174号
平成16年9月17日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

杉並区 の 教育 改革 を 発信

「教育改革ひろば」を開催しました！

教育委員会は、教育改革アクションプランを策定し、区民の皆様の信頼に応えるように教育施策を進めています。しかし、真の教育改革は、質の高い授業、学校の活力といった現場の力なくして達成できるものではありません。この度、「現場から変える、授業を変える」ことを目的に、「教育改革ひろば」を開催しました(25日:産業商工会館、27日:セッション杉並)。これは、教育改革の取り組みを広く発信していくとともに、杉並区が目指す「教育立区すぎなみ」の実現に向けて、教員、保護者、地域の皆様と手を携えて協働する機会となるものです。当日、教員や学校評議員の方々などが、授業力の向上、学校改革を大きなテーマに据えて、学習した様子をお伝えします。

8月 25日 講演『「教え力」に磨きをかける』



齋藤孝氏

会場に集まった約120名の教員が2人1組になって模擬授業を行っています。「先生のできることを子どももできるようにすることが授業です。」明治大学文学部教授 齋藤孝先生は『「教え力」に磨きをかける』をテーマに授業に役立つ講演をしてくださいました。そして、講演の中で「先生増殖方式」を提案され、それを受講者同士、ロールプレイングで体験してもらいました。あっという間の1時間30分。参加者からは「教育への新たな視点が聞けて参考になった。」「もっと話を聞きたい。」など感想が寄せられ、大変好評でした。

8月 27日 講演『「地域運営学校」の創造 ~地域で運営する新しい学校づくり~』ほか

慶応義塾大学大学院教授 金子郁容先生による『「地域運営学校」の創造 ~地域で運営する新しい学校づくり~』の講演を行い、「地域運営学校」とはどんな学校なのかをわかりやすくお話していただきました。地域が学校運営に関与できるしくみ、それが地域運営学校です。具体例も交えながら、学校評議員や学校関係者に地域運営学校のしくみや特徴を知っていただく良い機会となりました。



企業経営者とのディスカッション

別の会場では企業経営者と教員とのディスカッションを行いました。社団法人経済同友会の方々、「これから求められる人間像と学校教育への期待」をテーマに積極的な討議が繰り広げられました。また、詩のボクシングという新たな表現方法について、日本朗読ボクシング協会代表 楠かつのり氏と詩のボクシングを授業に取り入れて実践している小学校教諭 渡辺泰介氏のお二人からお話を聞く講演も開催しました。教員や学校評議員が教育に関する様々な課題について学んだ有意義な機会となりました。



金子郁容氏

ペン知る 第5回「調べる」学習賞コンクールを開催します
杉並区読書活動推進計画の一環として第5回「調べる」学習賞コンクールを行います。みなさんの作品をお待ちしています。
募集期間：9月1日(水)～9月30日(木) 作品の送り先：区立小中学校及び区立図書館
問い合わせ先：中央図書館児童サービス担当 ☎ 3391-5754

「自分たちで自分のまちをつくる社会教育」

- 第8期「杉並区社会教育委員の会議」答申 -

公募区民・学校関係者・学識経験者計9名からなる社会教育委員の会議では、平成15年7月23日に教育委員会からの諮問「杉並区における社会教育・スポーツ施策の方向性と目標について」を受け、論議をすすめてきました。

8月31日に同会議長から教育長に答申が手渡されましたので、その概要をお知らせします。教育委員会では、今後、この答申をふまえ、社会教育分野の計画等に反映していく予定です。



また、地域での子育て支援を豊かにしていくため、中・高校生や青年層が、児童館や新たに取り組まれる「子どもの居場所づくり」など、身近なところで自分たちの後輩を支える事業に積極的に関わることとする。

3 スポーツ振興と地域コミュニティづくり

健康で活力あるまちづくりにおいて、生活に根ざしたスポーツを区民とともに進めていくためには、区民一人ひとりがそれぞれにあったスポーツができるよう、新たな発想にもとづく条件整備が必要である。

このため、スポーツ指導者やスポーツ・ボランティアの育成・活用システムの確立、スポーツNPO等の民間団体の活動支援と行政との協働システムの構築をすすめるとともに、「総合型地域スポーツクラブ」の創設支援など、種目別スポーツだけではなく老若男女、家族ぐるみというイメージで地域創設にもつながる取り組みをすすめていく。

4 区民やNPOなどとの協働のあり方

区では、NPO支援の基本的なシステムとしくみを順次整備している。今後、区民やNPOなどとの協働をすすめる中で、特に人材育成や幅広い範囲でコーディネートできる地域人材の発掘などが重要である。

このため、社会教育・スポーツ活動に関して公共的な課題を担っているNPOとも共同企画や共催等の形態で事業を展開したり、関連部局等との協働により人材育成を通じてNPO活動の活性化を支援したりする。また、社会教育関係の講座等修了後にNPOへの参加や組織化といった働きかけや個別相談、情報提供などをすすめていく。

1 地域と学校のより緊密な連携

区立小・中学校は、それぞれの地域の震災救援所など人々を支える活動の拠点である。また、児童・生徒の安全や安心を確保するなど、人々に支えられながら活動する拠点でもある。地域、学校双方を取り巻く状況が大きく変わろうとしているいま、新たな関係づくりが必要である。

このため、学校教育コーディネーターの充実や学校サポーターがより活かされるようにしくみを整えるなど、できる限り幅広い住民が参加できるよう、学校や地域社会の中で人材育成プログラムやしくみづくりを進める。

また、複数の学校や異校種間での連携推進等により、それぞれの学校教育の活性化を図っていく。特に、区内大学・短期大学との協働を進める。

2 子育て・子育て支援と地域社会

多様化する子育ての実態に応じるためには、より多様なところで子育て支援を行ったり、一人ひとりができることから参加し、地域でのつながりづくりにつなげたりする必要がある。

このため、子育て中の当事者が多様な人々と出会うチャンスを豊かにできるように、既存の支援機関が相互連携したり新たなグループやNPO等との協働を徹底したりしながら、既存のしくみを活用しつつ活性化を図っていく。

「ご意見をお待ちしています」
「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。
「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。」
送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員会への意見」あて
ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>
(場所：生活ガイド) 子供、教育 教育委員からの発信

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。
「ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。」
送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員会への意見」あて
ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>
(場所：生活ガイド) 子供、教育 教育委員からの発信

小・中学生が取り組んだ展示を郷土博物館で公開中(10月3日まで)
郷土博物館の夏の企画「みんなの博物館」(「モノが宝モノに」7/22・23)の「展示にチャレンジ」が8月11～13日開催され、小学4年生～中学2年生までの5人が展示に取り組めました。自分達で展示する資料を選び・調べ・展示を組立て、特別展示室のメインの一面に展示しました。中学生が皆をまとめ、4年生でもここまでできるという力作をご覧ください。(期間中「杉並文学館」も子ども向けとなっています)
問い合わせ先：郷土博物館 ☎3317-0841

5 新たな地域づくりのかなめとして

住民それぞれがさまざまな場面で地域社会の一員としての自覚と責任をもち、自らの可能性を十分に発揮し、他者に働きかけていく。その力を新たな地域づくりにつなげていくため、個人発での活動づくりをすすめるとともに、一定の地域で全体を包含し個人や関係者を紡ぐ、いわば「地域コーディネーター」のような存在が必要である。当面は、地域の様々なネットワークの関係者で集団を構成し、地域学習のプログラムや地域と家庭の教育力につながる社会教育プログラムなどを打ち出していくことなどが考えられよう。新しい地域社会の創造をめざすうえで、住む人それぞれがその場で問題解決に取り組みながら知識や経験を重ね、地域づくりに関わっていく。そんな姿が、この時代の社会教育ではなからうか。

企画を公募した「すぎなみコミュニティカレッジ」がはじまります!

コミュニティカレッジは、学校や地域を良くしたいと願う区民の方々の気持ちが、具体的な活動につながっていくための学習の機会として開催しています。

今年度後半の開催に向けては、区民の方から自由な企画を公募したほか、「子育て支援」「子ども読書活動推進」といった行政から出されたテーマへの応募もあわせ28講座の提案を受け、その中から9講座を行うことになりました。

地域でのちょっとした子育て支援を行うためのコツを学ぶ、ピオトップづくりを学ぶ、地域資源や情報の掘り起こし方を学ぶ、「ホームレス」問題を考え地域でできる事を探る、などなど。講座の詳細については、今後「広報すぎなみ」でお知らせするほか、地域区民センターや図書館等でチラシを配布していきます。「自らの知識や技術の向上」「子どものため」「地域を良くしたい」など、多くの方のご応募をお待ちしています。
問い合わせ：社会教育センター ☎3317-6621



幼児期の教育を考える

今年度の「教育委員からの発信」では、「杉並区の教育改革」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

教育委員からの発信

教育委員 宮坂 公夫



Let's try! 杉並区中学生海外派遣報告

「Bye Bye!」手を振りながら、いつまでもバスを追いかけるホストチューデント。これは、杉並区中学生海外派遣の一コマ。涙、涙のお別れ式の後の出来事です。

派遣生は、6泊にわたるホームステイで多くのことを体験しました。言葉の壁も、電子辞書を駆使したり、身振り手振りを交えたり、まさに体当たりのコミュニケーションで乗り越えました。

また、3日間の体験入学も思い出深いものになりました。公立チャットウッドハイスクール、私立グレネオンスクールの生徒となった派遣生は、お菓子が食べられる「ティータイム」に驚き、「Hi!」の一言で友達になれるオーストラリアの温かい校風に感心していました。

早く受け入れてくれたウィロビーの人たちに感謝の意を込めて、派遣生が企画したフェアウェルパーティ(さよならパーティ)は大変な盛り上がりを見せました。この日のために、猛暑の中、「南中ソーラン」の踊りや手話つきの「世界でひとつだけの花」の歌などを派遣生一丸となって練習してきたのです。

拍手喝采の宴の後は、冒頭の涙のお別れ。しかし、派遣生はこの海外派遣を通じて、かけがえのない貴重な体験をしたはず。これから派遣生が、世界と日本を結び「かけはし」となってくれることを期待しています。



ホームステイや体験入学を行った派遣生たち

平成16年度杉並区中学生海外派遣

派遣団：生徒30名 引率5名(団長 高円寺中学校長 岩谷俊行)

派遣期間：7月29日～8月7日(9泊10日)

派遣先：オーストラリア ウィロビー市(区友好都市[平成2年～])

派遣生それぞれの思いを綴った『平成16年度杉並区中学生海外派遣報告書』

は区役所2階区政資料室、区立図書館でご覧になれます。



小学生が使う教科用図書が決まりました

平成17年度から使用する区立小学校の教科用図書は、下表のとおり決定しました。

教科書は、7月28日に開かれた教育委員会において、教科書調査委員会(校長、教頭、主幹、PTAからなる組織)の報告や、種目別の調査報告書、学校からの調査報告書、区民のアンケートを参考にして5人の教育委員の協議を経て採択されました。

採択された教科用図書(見本本)は済美教育研究所(堀ノ内2-5-26)内教科書センターで常時閲覧することができます。

なお、心身障害学級及び済美養護学校用教科用図書は、107条教科書調査委員会からの報告があったものに決まりました。

問い合わせ先: 指導室

平成17~20年度使用 小学校教科用図書

種目	発行者
国語	光村図書
書写	光村図書
社会	東京書籍
地図	帝国書院
算数	啓林館
理科	教育出版
生活	大日本図書
音楽	東京書籍
図画工作	日本文教出版
家庭	東京書籍
保健	学習研究社

区立学校で放課後活動

「地域子ども教室推進事業」がはじまります

- 子どもの居場所づくり杉並実行委員会が事業をすすめます -



いま、子どもたちが放課後に安全で安心できる居場所をどう拡充していけるかが課題になりつつあります。

文部科学省は、本年4月から「子どもの居場所づくり新プラン」に基づき、小・中学生を対象にした「地域子ども教室推進事業」をすすめています。家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちに安全で安心な居場所をつくり、時代を担う子どもたちを育てようとするものです。杉並区内でも小・中学校での放課後活動への導入に向け、いま、準備がすすめられています。

「地域子ども教室推進事業」は、文部科学省が直接実施団体等を支援するしくみが採られています。このため、区市町村レベルでこの事業を実施する場合には、都道府県レベルに置かれる運営協議会のもとに、区内全域で事業を遂行するための実行委員会が必置となります。区内では、「子どもの居場所づくり杉並実行委員会(委員長:東島信明氏)」が事業の実施主体となり、具体的な事業の中味や実施について、それぞれの学校や地域の個性を活かし工夫しながらすすめていくことになります。

すでにいくつかの学校で同種の取り組みを独自にすすめたり、試行しているところもありますが、今後、それぞれの学校ごとに担い手となる地域の方々や居場所づくりコーディネーターとの話し合いをもとにしながら、杉並実行委員会が実務を担い、順次、各学校での事業を立ち上げていく予定です。

杉並区としましては、それぞれの地域の力で、子どもたちにとって身近な学校を使った放課後活動が充実していくことを期待し、杉並実行委員会事業を支援していきます。

なお、杉並実行委員会専用事務所を設置しましたので、これから事業を立ち上げたり、活動に参加を希望されたりする場合は、ぜひご相談ください。

問い合わせ先: 子どもの居場所づくり杉並実行委員会事務局

☎ 5311-6861 / FAX 5311-6862

杉並区立小中学校第一次適正配置 計画策定のためのたたき台(通学区域の変更)を作成しました



区立小中学校の適正規模を確保し、杉並区の目指す教育を実現する学校づくりのため、「杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(通学区域の変更)」を作成しました。

周辺の状況から教室不足が予想される大規模校の通学区域を見直します。なお、学校の適正配置のうち学校の統合については、後日お知らせします。

たたき台(通学区域の変更)に対する意見の提出手続などについては、広報すぎなみ(16年9月1日号)のほか、区ホームページにも掲載しています。

【通学区域の変更】

高井戸中学校(予定時期=18年度) 桃井第一小学校(予定時期=19年度) 井荻中学校(予定時期=19年度) 浜田山小学校(予定時期=20年度)

なお、通学区域の変更により、住所地が通学区域外になった場合でも、在校生については引き続き同じ学校に通学できます。

問い合わせ先: 学校適正配置担当・学務課・施設課

地域運営学校を開設します

平成17年4月に地域運営学校を小学校1校、中学校1校開設します。地域運営学校とは、学校運営協議会を設置し、地域の方々为学校運営に対して意見を述べる事ができる新しい学校運営のあり方です。

教育委員会は、学校の希望により地域運営学校を指定していく予定です(申出期限10月22日)。開設にあたっては、地域の方々の意向を踏まえながら進めていきます。

問い合わせ先: 庶務課計画係

区内大学図書館の 本の閲覧・貸出ができます

去る7月26日、杉並区立図書館と区内大学・短期大学図書館との相互協力に関する協定書の調印式が行われました。

協定書を結んだのは、女子美術大学、高千穂大学、東京立正女子短期大学、明治大学、立教女学院短期大学の5大学です。

これにより、区立図書館と区内大学図書館が連携し、各図書館が所有する情報資源の有効活用を図り、生涯学習の発展、大学の教育・研究の発展、そして、杉並地域の文化・教育の発展に向け「杉並区図書館ネットワーク」が組織化されました。

8月2日からは、杉並区民の方を対象に、区内に所在する協定大学図書館の館内閲覧と館外貸出が開始され、これまで大学図書館の利用に際して必要としていた公立図書館の紹介状が不要となりました。

ご利用にあたっては、各大学図書館にご連絡ください。

連絡先

女子美術大学杉並図書館	和田1-49-8	☎ 5340-4514	http://www1.joshibi.ac.jp/library/
高千穂大学図書館	大宮2-19-1	☎ 3313-0147	http://www.takachiho.jp/lib/index.html
東京立正女子短期大学図書館	堀ノ内2-41-15	☎ 3316-6854	http://www.tokyorrissho.ac.jp/
明治大学和泉図書館	永福1-9-1	☎ 5300-1186	http://www.lib.meiji.ac.jp
立教女学院短期大学図書館	久我山4-29-23	☎ 3334-7029	http://www.rjt.ac.jp/



問い合わせ先: 中央図書館 ☎ 3391-5754

教育委員会の動き

平成16年6月~8月

【教育委員会開催状況】

定例会	4回
臨時会	3回
議案	9件
報告事項	17件

【主な案件】

は審議、は報告事項
 小学校教科用図書及び107条教科書の採択について
 「杉並区立小中学校適正配置基本方針」について
 杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(通学区域の変更)について
 平成16年度杉並区立小学校・中学校教育課程の分析(仮称)杉並区立方南図書館の名称及び運営について
 「児童・生徒の健全育成に関する警察と学校との相互連絡制度」について
 教科書展示会の結果報告について
 杉並区立図書館及び杉並区内大学・短期大学図書館の相互協力に関する協定書の調印について

科学創意工夫展を開催します

10月1~4日まで、科学館では区内の小・中学校の児童・生徒たちの作品や実験・観察の研究記録約800点を展示しています。また、開催期間中にはビデオの上映やプラネタリウムを放映します。国立科学博物館名誉会員小島郁生先生の「化石から探る恐竜の不思議」の講演会も行います 問い合わせ先: 科学館 ☎ 3396-4391



古紙配合率100%再生紙を使用しています。